

第9章 今後の取組に向けて

第1節 事業の方向性

旧沼津御用邸苑地の本質的価値を次世代へ良好な状態で継承するため、第4章で明らかになった課題について、第5章、第6章で示した保存と活用、整備の基本方針に基づく改善に着手する。

まずは、有識者からなる（仮称）名勝旧沼津御用邸苑地整備委員会を設置し、整備基本計画を策定する。整備基本計画では、旧沼津御用邸苑地の本質的価値である①松林、②眺望景観、③御用邸時代の建造物・構造物等を保存するための整備に加え、④旧沼津御用邸苑地を活用するための整備についても検討を行う必要がある。

①松林を保全するための取組

- ・ 毎木調査を実施する。
- ・ 植栽管理計画を策定する。

②眺望景観を保全するための取組

- ・ 展望地点の整備を行う。
- ・ 眺望景観を確保するための植栽管理を行う。

③御用邸時代の建造物・構造物等を保存するための取組

- ・ 耐震調査を実施する。
- ・ 耐震補強工事を行う。
- ・ 保存修理工事を行う。

④旧沼津御用邸苑地を活用するための取組

- ・ サイン計画を策定する。
- ・ 公園施設の改修工事を行う。

第2節 追加指定の検討

第1項 保護の検討を必要とする範囲

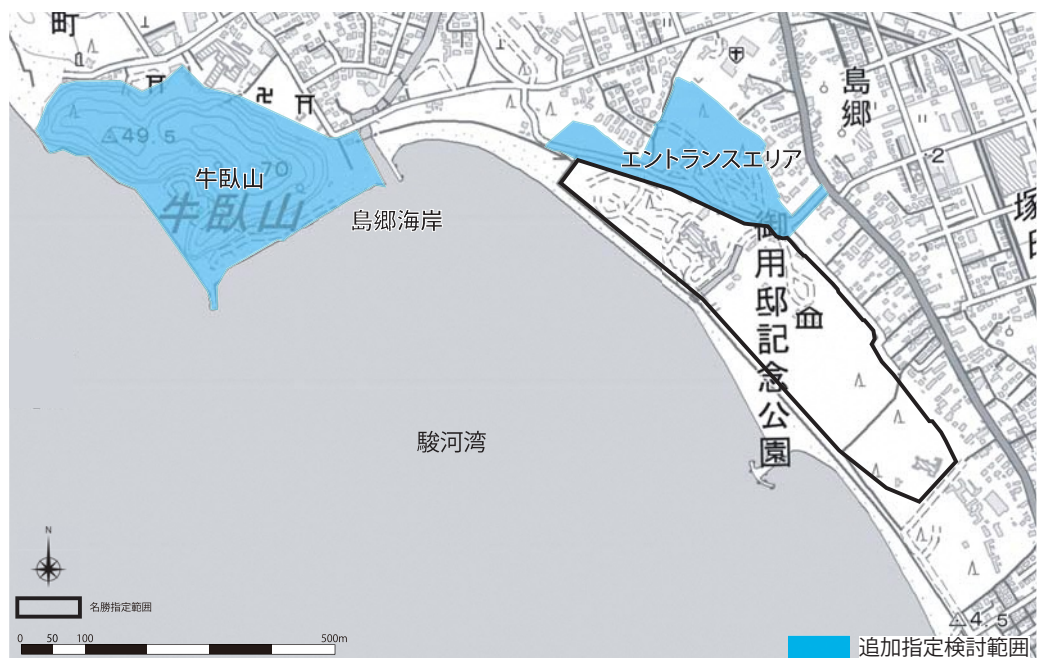
指定地に隣接するエントランスエリアは、沼津御用邸の敷地であり、また沼津御用邸記念公園の駐車場として使用している。一方、牛臥海岸は、旧沼津御用邸苑地から望む眺望景観を構成する要素として重要な役割を果たしている。

①エントランスエリア

沼津御用邸の敷地として一体的に利用されていた。松林が広がっており、根上がりの特徴が見られる大径木も多い。また、御用邸時代の建造物である車庫や油庫、便所が現存している。旧沼津御用邸苑地の本質的価値を有する松林や御用邸時代の建造物・構造物等を同様に有するエリアであることから、一体的に保護していくことが望ましい。

②牛臥海岸（島郷海岸）

牛臥山から旧沼津御用邸苑地まで続く牛臥海岸は、美しい眺望景観を成している。特に牛臥山は、旧沼津御用邸苑地からの眺望対象として重要である。将来にわたり、苑地からの良質な眺望景観を確保するためには、一体的に保護していくことが望ましい。



[図 9-1] 追加指定検討範囲